

メディア教材の試行と実験授業における教育効果
○沖田千代^{*} 児玉満^{*} 井上崇^{*} 渡辺竹千代^{*} 今枝辰博^{*}
(*純真女子短期大学, **東和大学情報科学教育センター)

目的 栄養士を養成する食物栄養専攻では医学に基礎を置きヒトの体内での機能を考慮した「栄養」が重要視されてきた現状から、身体のしくみと臓器の機能等、生理学関係の教育は充実を迫られている。解剖生理学実験の中で動物生体臓器を使用する実験は短時間で実験が進行し、従来の方法では学生の生体のしくみに対する理解は不十分なまま進行し充実した教育効果は上がらない。そこで、反復学習が可能で疑似体験出来るマルチメディア教材を作成し、その教育効果の有効性を検討することとした。

方法 実験の様子を取めたビデオ、説明文字、イラスト、音声をそれぞれのソフトでパーソナルコンピュータに取り込み、オーサリングソフトで統合してマルチメディア教材を作成した。また、その教育上の有効性を確認するため、学生50人に対して、板書で十分に実験の経過や内容等の説明を実施した後、実験前と実験後の2回、アンケートで調査した。

結果 マルチメディア教材の内容はグレードアップの必要性を残してはいるものの、実験にマルチメディア教材を利用することによって、学生が以前より実験へ興味を抱き、実験の教育内容の充実に対して良好な結果が得られた。